

元気なまぢづくり

vol.37

総合戦略室（総合戦略グループ）

（☎0296-58-5126直通）

伝統技法を引き継ぎ守る



石工芸の魅力語る高橋翔太郎さん

カツ、カツ、カツ
真壁町桜井の大関石材店を訪ねると、作業場からノミで石を叩く音が聞こえてきます。

作業をしているのは、石材店に勤務して3年目になる高橋翔太郎さん。
横浜市出身の高橋さんは、大学卒業後、「京都伝統工芸大学校」で2年間、石工芸を学びました。その後、職人の道を選び、国の伝統的工芸品「真壁石燈籠」の技法が継承されている石の産地真壁に移住してきました。

真壁のみかげ石は良質な花崗岩として知られています。記録では、真壁の石工芸の歴史は室町時代にまで遡り、江戸時代にも石工は活発に活動していました。江戸時代後期に「真壁石燈籠の伝統技法」が定着し、以降厳しい子弟相伝の伝統技法が、現在まで引き継がれています。

大学校で石の加工技術を学んできた高橋さんは、真壁に来て最初にみかげ石の硬さ、先輩の職人のスピード感、正確性に驚きました。そして、いつか自分もその技を習得すると決意しました。「真壁石燈籠の堅牢さと優しい肌合いが好きです。そして、何といても石の魅力は、制作したものが長く残り、時間が経つにつれて味が出てくるところだと思います」と高橋

さん。
さらに、額の汗を拭いながら、「親方をはじめ地元の方の人柄が気さくで、互いに支え合う生活に魅力を感じました。また、真壁に移り住んで間もなく、仕事帰りに見た水田に映し出された山の稜線の美しさにも魅了されました」と爽やかに語ります。

近年UTターンで地方に移り住む若者が増えていますが、若者にとつての魅力は地域の何気ない日々の生活の中にあるのではないのでしょうか。地域の産業を守ること、普段の身の回りの風景を見つめ直すことからはじまるのかもしれない。

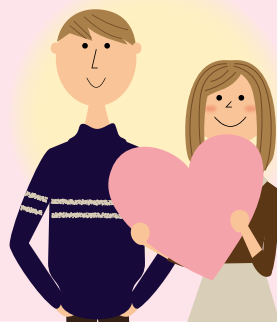


ノミを使って石燈籠を制作する高橋さん

婚活情報

食べて！お茶して！
楽しいイベントも！

桜川・ENMUSUBI・縁結



■日時／6月19日（日）、11時～15時30分（受付10時30分）
■場所／Café METRO（桜川市岩瀬146）

■募集／35歳から45歳までの独身男女各15名（応募多数の場合は抽選。当選者に参加決定通知書を郵送）

■参加費／男性5,000円、女性2,500円

■募集期限／6月7日（火）

■問合せ・申込先／総合戦略室（☎0296-58-5126直通）

※（社）いばらき出会いサポートセンターのホームページからも申込みできます。

一人暮らしに不安を感じていらっしゃる方、お気軽にご相談下さい。介護の必要な方も訪問介護等を利用されながら生活することが出来ます。

・物忘れが多くなった
・食事の支度が大変だ
・具合が悪くなった時に心配だ
・退院した後の生活が不安だ
などの心配ごとはございませんか？



真壁消防署の交差点からつば方面1つめの信号を左折

経費老人ホーム（ケアハウス）
グリーンヴィラ
0296-55-1029
桜川市真壁町田1428

とびた歯科クリニック

▼診察時間 来院前に、必ずご連絡ください。

曜日	月	火	水	木	金	土	日
時間	9:30~12:30 (受付は12:00まで)	〇	〇	休	〇	〇	休
						9:00 12:30	
							休
							休
							休

※祝日のある週は、水曜診察致します。

ナオ シロイハ
70-4618

パワーmarkt岩瀬店前



とびた歯科クリニック 検索